

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人 南寿会

<平成 29 年度事業計画結果報告>

【平成 29 年度施設目標】

施設目標である「計画・マニュアル・ルールの再確認とその徹底」については、各部署長の事業計画をもとに四半期毎の面談に於いて、計画通り一人ひとりへの落とし込み、改善が必要な部分についての変更を行ったことを確認、報告を受けました。各委員会に関わるマニュアルについても、改善・変更の必要なものについて終了したことを委員会議事録・報告により確認しました。

平成 28 年度、インフルエンザの集団感染をまねいてしまった教訓から、施設全体として感染症に対する意識を高める中で、今年度は 11 月 1 日より 3 月 31 日まで全職員の出勤前健康チェックを実施しました。また、ショートステイの御利用者についても利用前の健康チェックを徹底しました。これにより、二次的な感染を防ぐことが出来、特養御入居者に感染者は出ませんでした。

【人材育成】

(職員確保)

平成 29 年度職員採用者

訪問登録ヘルパー職員 3 名

デイサービス 看護師 1 名、ケアワーカー 1 名

特養 3 名 (内パート 1 名)

給食 パートタイム職員 1 名

平成 29 年度職員退職者

特養介護職員 2 名

機能訓練指導員 1 名

デイサービス 1 名

給食 パートタイム職員 1 名

事務所 パートタイム職員 1 名

人材難が叫ばれる中、新規採用者も上記の通り確保することができ、比較的順調であったと言えます。また、退職者につきましても特養の 2 名、機能訓練指導員 1 名、デイサービス職員 1 名、他パートタイム職員 2 名と減っています。働きやすい環境づくりとしての取り組みの成果があらわれていると考えています。

- ・ 職場内の 5 つのルールの徹底。
- ・ 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) 活動。
- ・ 正職員登用条件の緩和。
- ・ 職員相談窓口の設置。
- ・ 衛生委員会実施の職員満足度アンケートの集計結果においても前年度よりも良好な

結果が出ています。衛生委員会メンバーである産業医から、自らが所属する組織よりも良い結果、傾向にあるとコメントを頂いています。

- ・今年度は5月より「職員の声」投書箱を設置し、職員の声を施設運営に反映できるよう取り組み始めました。

(職員教育)

研修については、年間計画、突発的に必要となった研修も含めて順調に進みました。

内部研修については、外部研修に行った職員が講師となり、おこなった研修も含まれます。講師となった職員にとっては研修内容の再確認と他職員へ分かりやすく伝えようと更なる勉強が必要となり、責任感を植え付けることとなります。

平成29年年度事業計画の結果につきましては上記の通り、順調であったことを御報告いたします。

平成 29 年度 事業報告の附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「社会福祉法施行規則」第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。